



和歌山県報

発行 和歌山県
和歌山市小松原通一丁目1番地
毎週火、金曜日発行

目次

(取扱課室名) ページ

○ 告示

- 205 平成30年度前期技能検定の実施 (労働政策課) 1
206 平成30年度随時技能検定の実施 (") 4

○ 人事委員会告示

- 3 平成30年度和歌山県職員採用試験実施計画 6
4 平成30年度第1回和歌山県警察官A採用試験及び和歌山県警察官（サイバー犯罪捜査官）採用試験の実施 8

告 示

和歌山県告示第205号

職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）第66条第3項の規定に基づき、平成30年度前期技能検定の実施に係る事項について次のとおり公示する。

平成30年3月1日

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

1 実施する等級別検定職種

(1) 1級及び2級

造園（造園工事作業）、金属熱処理（一般熱処理作業）、機械加工（普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業、数値制御フライス盤作業、円筒研削盤作業、ホブ盤作業、マシニングセンタ作業）、鉄工（製缶作業、構造物鉄工作業）、建築板金（内外装板金作業、ダクト板金作業）、工場板金（曲げ板金作業）、仕上げ（治工具仕上げ作業、機械組立仕上げ作業）、電子機器組立て（電子機器組立て作業）、電気機器組立て（配電盤・制御盤組立て作業）、建設機械整備（建設機械整備作業）、家具製作（家具手加工作業、家具機械加工作業）、建具製作（木製建具手加工作業）、とび（とび作業）、左官（左官作業）、築炉（築炉作業）、畳製作（畳製作作業）、防水施工（ウレタンゴム系塗膜防水工事作業、アクリルゴム系塗膜防水工事作業、シーリング防水工事作業、FRP防水工事作業）、内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業、カーペット系床仕上げ工事作業、化粧フィルム工事作業）、化学分析（化学分析作業）、表装（壁装作業）、塗装（建築塗装作業）、広告美術仕上げ（広告面粘着シート仕上げ作業）、フラワー装飾（フラワー装飾作業）

(2) 3級

造園（造園工事作業）、機械加工（普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業、マシニングセンタ作業）、工場板金（曲げ板金作業）、仕上げ（機械組立仕上げ作業）、機械検査（機械検査作業）、電子機器組立て（電子機器組立て作業）、建築大工（大工工事作業）、とび（とび作業）、左官（左官作業）、化学分析（化学分析作業）、広告美術仕上げ（広告面粘着シート仕上げ作業）、フラワー装飾（フラワー装飾作業）

2 技能検定試験の方法

実技試験及び学科試験

3 技能検定試験の手数料、実施期日、実施場所等

(1) 実技試験

ア 手数料

(ア) 1級、2級及び3級

検定職種	手数料（1件）
機械検査	14,900円
造園、金属熱処理、機械加工、鉄工、建築板金、工場板金、仕上げ、電子機器組立て、電気機器組立て、建設機械整備、家具製作、建具製作、建築大工、とび、左官、築炉、畳製作、防水施工、内装仕上げ施工、化学分析、表装、塗装、広告美術仕上げ、フラワー装飾	17,900円

(イ) (ア)の規定にかかわらず、実技試験の受検者が次のaからcまでのいずれかに該当する場合の実技試験の手数料の額は、aからcまでの区分に応じ、それぞれaからcまでに定める額とする。

a 実技試験を実施する日の属する年度の4月1日において35歳未満である者（出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第1の上欄の在留資格をもって在留する者並びにb及びcに規定する在校生を除く。）

2級又は3級

検定職種	手数料（1件）
機械検査	5,900円
造園、金属熱処理、機械加工、鉄工、建築板金、工場板金、仕上げ、電子機器組立て、電気機器組立て、建設機械整備、家具製作、建具製作、建築大工、とび、左官、築炉、畳製作、防水施工、内装仕上げ施工、化学分析、表装、塗装、広告美術仕上げ、フラワー装飾	8,900円

b 在校生（公共職業能力開発施設の職業訓練を受けている者、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の生徒、大学の学生その他これらに類する者として知事が認めるものをいう。cにおいて同じ。）（cに規定する在校生を除く。）

3級

検定職種	手数料（1件）
機械検査	9,900円
造園、機械加工、工場板金、仕上げ、電子機器組立て、建築大工、とび、左官、化学分析、広告美術仕上げ、フラワー装飾	11,900円

c 実技試験を実施する日の属する年度の4月1日において35歳未満である在校生（出入国管理及び難民認定法別表第1の上欄の在留資格をもって在留する者を除く。）

3級

検定職種	手数料（1件）
造園、機械加工、工場板金、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、建築大工、とび、左官、化学分析、広告美術仕上げ、フラワー装飾	2,900円

イ 実施期日

実技試験は、3級職種は平成30年6月5日（火）から同年8月12日（日）まで、その他の職種は同年6月5日（火）から同年9月9日（日）までの間において、別途和歌山県職業能力開発協会（以下「協会」という。）が指定する日に行う。

ウ 実施場所

実技試験は、別途協会が指定する場所で行う。

エ 問題の公表

実技試験の問題は、あらかじめ平成30年5月29日（火）から和歌山県商工観光労働部商工労働政策局労働政策課（以下「労働政策課」という。）及び協会において閲覧することができる。ただし、一部の検定職種については公表しない。

(2) 学科試験

ア 手数料 3,100円

イ 実施期日

学科試験の実施期日は、検定職種ごとに次のとおりとする。

検定職種	等級	実施日
造園、機械加工、工場板金、仕上げ、機械検査、電子機器組立て、建築大工、とび、左官、化学分析、広告美術仕上げ、フラワー装飾	3級	平成30年7月15日（日）
造園、金属熱処理、とび、築炉、防水施工、化学分析、塗装	1級及び2級	平成30年8月19日（日）
機械加工、鉄工、電子機器組立て、建設機械整備、家具製作、建具製作、左官、畳製作、内装仕上げ施工、広告美術仕上げ	1級及び2級	平成30年8月26日（日）
建築板金、工場板金、仕上げ、電気機器組立て、表装、フラワー装飾	1級及び2級	平成30年9月2日（日）

ウ 実施場所

学科試験は、和歌山市及び田辺市において別途協会が指定する場所で行う。

4 受検申請の手続

(1) 提出書類

ア 技能検定受検申請書（以下「申請書」という。）

イ 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証する書面

(2) 提出先

協会

郵便番号 640-8272

和歌山市砂山南三丁目3番38号 和歌山技能センター内

電話番号 073-425-4555

(3) 受付期間

平成30年4月4日（水）から同月17日（火）まで

(4) 受検申請に関する注意

ア 申請書の用紙及び受検案内は、協会で作成する。

なお、申請書の用紙の郵送を求める場合は、封筒の表面に「技能検定受検申請書用紙請求」と朱記し、返信用封筒（角形2号封筒に宛先を記入し、140円切手を貼ったもの）を同封すること。

イ 申請書を郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表面に「〇級技能検定受検申請書在中」と朱記すること。

なお、実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合は、その資格を証する書面を同封すること。

郵送による申請書は、受付期間内の消印のあるものに限り受け付ける。

5 手数料の納付方法

実技試験の手数料（3（1）アに定める額）及び学科試験の手数料（3,100円）を申請書に添えて納付するものとする。ただし、実技試験若しくは学科試験の免除を受けようとする場合又は実技試験若しくは学科試験を受検しない場合は、当該試験に係る手数料の納付は要しない。

なお、受検申請を受け付けた後は、申請を取り下げた場合又は実技試験若しくは学科試験を受けなか

った場合でも手数料の返還はしない。

6 合格者の発表等

(1) 技能検定合格者の発表

技能検定合格者の受検番号を、平成30年9月28日（金）に和歌山県ホームページに掲載するとともに、県庁北別館本館連絡通路に掲示するほか、書面で通知する。ただし、3級の技能検定合格者の合格発表は、平成30年8月31日（金）に和歌山県ホームページに掲載するとともに、県庁北別館本館連絡通路に掲示するほか、書面で通知する。

(2) 実技試験又は学科試験の合格通知

実技試験又は学科試験のいずれかにのみ合格した者については、書面で通知する。

(3) 技能検定合格証書等の交付

1級の技能検定合格者には厚生労働大臣の、2級又は3級の技能検定合格者には知事の合格証書が交付されるとともに、1級の技能検定合格者には1級技能士章、2級の技能検定合格者には2級技能士章、3級の技能検定合格者には3級技能士章が、それぞれ交付される。

7 その他

技能検定について不明な点は、労働政策課（電話番号 073-441-2802）又は協会（電話番号 073-425-4555）に問い合わせること。

和歌山県告示第206号

職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）第66条第3項の規定に基づき、平成30年度随時技能検定の実施に係る事項について次のとおり公示する。

平成30年3月1日

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

1 実施する等級及び検定職種

(1) 3級

鋳造（鋳鉄鋳物鋳造作業）、機械加工（普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業、マシニングセンタ作業）、鉄工（構造物鉄工作業）、建築板金（内外装板金作業、ダクト板金作業）、工場板金（機械板金作業）、仕上げ（治工具仕上げ作業、機械組立仕上げ作業）、機械検査（機械検査作業）、電子機器組立て（電子機器組立て作業）、電気機器組立て（配電盤・制御盤組立て作業）、冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）、ニット製品製造（靴下製造作業）、婦人子供服製造（婦人子供既製服縫製作業）、家具製作（家具手加工作業）、建具製作（木製建具手加工作業）、プラスチック成形（射出成形作業）、パン製造（パン製造作業）、建築大工（大工工事作業）、かわらぶき（かわらぶき作業）、とび（とび作業）、左官（左官作業）、築炉（築炉作業）、配管（建築配管作業、プラント配管作業）、型枠施工（型枠工事作業）、鉄筋施工（鉄筋組立て作業）、コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）、防水施工（シーリング防水工事作業）、内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業、カーテン工事作業）、表装（壁装作業）、塗装（建築塗装作業、金属塗装作業、鋼橋塗装作業、噴霧塗装作業）、工業包装（工業包装作業）

(2) 基礎級

鋳造（鋳鉄鋳物鋳造作業、非鉄金属鋳物鋳造作業）、機械加工（普通旋盤作業、数値制御旋盤作業、フライス盤作業、マシニングセンタ作業）、鉄工（構造物鉄工作業）、建築板金（内外装板金作業、ダクト板金作業）、工場板金（機械板金作業）、仕上げ（治工具仕上げ作業、金型仕上げ作業、機械組立仕上げ作業）、機械検査（機械検査作業）、電子機器組立て（電子機器組立て作業）、電気機器組立て（回転電機組立て作業、変圧器組立て作業、配電盤・制御盤組立て作業、開閉制御器具組立て作業、回転電機巻線製作作業）、プリント配線板製造（プリント配線板設計作業、プリント配線板製造作業）、冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）、染色（糸浸染作業、織物・ニット

浸染作業）、ニット製品製造（丸編みニット製造作業、靴下製造作業）、婦人子供服製造（婦人子供既製服縫製作業）、紳士服製造（紳士既製服製造作業）、寝具製作（寝具製作作業）、布はく縫製（ワイシャツ製造作業）、家具製作（家具手加工作業）、建具製作（木製建具手加工作業）、印刷（オフセット印刷作業）、プラスチック成形（圧縮成形作業、射出成形作業、インフレーション成形作業、ブロー成形作業）、強化プラスチック成形（手積み積層成形作業）、石材施工（石材加工作業、石張り作業）、パン製造（パン製造作業）、水産練り製品製造（かまぼこ製品製造作業）、建築大工（大工工事作業）、かわらぶき（かわらぶき作業）、とび（とび作業）、左官（左官作業）、築炉（築炉作業）、タイル張り（タイル張り作業）、配管（建築配管作業、プラント配管作業）、型枠施工（型枠工事作業）、鉄筋施工（鉄筋組立て作業）、コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）、防水施工（シーリング防水工事作業）、内装仕上げ施工（プラスチック系床仕上げ工事作業、カーペット系床仕上げ工事作業、鋼製下地工事作業、ボード仕上げ工事作業、カーテン工事作業）、熱絶縁施工（保温保冷工事作業）、サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）、表装（壁装作業）、塗装（建築塗装作業、金属塗装作業、鋼橋塗装作業、噴霧塗装作業）、工業包装（工業包装作業）

注 3級の職種に係る試験については、基礎級又は職業能力開発促進法施行規則及び職業能力開発促進法第47条第1項に規定する指定試験機関の指定に関する省令の一部を改正する省令（平成29年厚生労働省令第57号）第1条の規定による改正前の職業能力開発促進法施行規則第61条に掲げる基礎1級若しくは基礎2級に合格した者に限り受けることができるものとする。

2 技能検定試験の方法

実技試験及び学科試験

3 技能検定試験の手数料、実施期日、実施場所等

(1) 実技試験

ア 手数料

3級及び基礎級

検定職種	手数料（1件）
機械検査、婦人子供服製造	14,900円
鋳造、機械加工、鉄工、建築板金、工場板金、仕上げ、電子機器組立て、電気機器組立て、プリント配線板製造、冷凍空気調和機器施工、染色、ニット製品製造、紳士服製造、寝具製作、布はく縫製、家具製作、建具製作、印刷、プラスチック成形、強化プラスチック成形、石材施工、パン製造、水産練り製品製造、建築大工、かわらぶき、とび、左官、築炉、タイル張り、配管、型枠施工、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、防水施工、内装仕上げ施工、熱絶縁施工、サッシ施工、表装、塗装、工業包装	17,900円

イ 実施期日

実技試験は、平成30年4月1日（日）から平成31年3月31日（日）までの間において、別途和歌山県職業能力開発協会（以下「協会」という。）が指定する日に行う。

ウ 実施場所

実技試験は、別途協会が指定する場所で行う。

エ 問題の公表

実技試験の問題は、あらかじめ受検申請者に公表する。ただし、一部の検定職種については、問題の全部又は一部を公表しない。

(2) 学科試験

ア 手数料 1件につき3,100円

イ 実施期日

学科試験は、平成30年4月1日（日）から平成31年3月31日（日）までの間において、別途協会が

指定する日に行う。

ウ 実施場所

学科試験は、別途協会が指定する場所で行う。

4 受検申請の手続

(1) 提出書類

技能検定受検申請書（以下「申請書」という。）

(2) 提出先

協会

郵便番号 640-8272

和歌山市砂山南三丁目3番38号 和歌山技能センター内

電話番号 073-425-4555

(3) 受付期間

原則として、技能検定試験の実施期日の30日前までとする。

(4) 受検申請に関する注意

ア 申請書の用紙及び受検案内は、協会配布する。

なお、申請書の用紙の郵送を求める場合は、封筒の表面に「技能検定受検申請書用紙請求」と朱記し、返信用封筒（角形2号封筒に宛先を記入し、140円切手を貼ったもの）を同封すること。

イ 申請書を郵送する場合は、書留郵便とし、封筒の表面に「〇級技能検定受検申請書在中」と朱記すること。

5 手数料の納付方法

実技試験の手数料（3（1）アに定める額）及び学科試験の手数料（3,100円）を申請書に添えて納付するものとする。

なお、受検申請を受け付けた後は、申請を取り消した場合又は実技試験若しくは学科試験を受けなかった場合でも手数料の返還はしない。

6 合格の通知等

(1) 実技試験又は学科試験の合格通知

実技試験又は学科試験のいずれかのみ合格した者については、書面で通知する。

(2) 技能検定合格証書の交付

3級又は基礎級の技能検定合格者には知事の合格証書が交付される。

7 その他

3級及び基礎級の技能検定は、外国人の技能実習制度に係る研修成果の評価及び習得技能等の認定に活用するものである。

なお、技能検定について不明な点は、和歌山県商工観光労働部商工労働政策局労働政策課（電話番号 073-441-2802）又は協会（電話番号 073-425-4555）に問い合わせること。

人事委員会告示

和歌山県人事委員会告示第3号

平成30年度和歌山県職員採用試験実施計画を次のとおり定める。

平成30年3月1日

和歌山県人事委員会委員長 平 田 健 正

1 試験日程

試験名	試験案内の 配布開始	受付期間	第1次試験日	第2次試験日	第3次 試験日

I 種 (大学卒業程度)	資格免許職 (I種と同日実施)	平成30年4月13日 予定	平成30年4月24日～ 平成30年5月25日	平成30年6月24日	平成30年7月中旬 ～8月下旬	
		平成30年7月17日 予定	平成30年8月7日～ 平成30年8月24日	平成30年9月23日	平成30年10月中旬 ～下旬	
III 種 (高校卒業程度)	資格免許職 (III種と同日実施)	平成30年3月1日 予定	平成30年3月1日～ 平成30年4月6日	平成30年5月13日	平成30年6月中旬	平成30年 7月中旬
		平成30年6月22日 予定	平成30年7月2日～ 平成30年8月14日	平成30年9月16日	平成30年10月下旬	平成30年 11月中旬
第1回 警察官A	男性	平成30年3月1日 予定	平成30年3月1日～ 平成30年4月6日	平成30年5月13日	平成30年6月中旬	平成30年 7月中旬
	女性					
第2回 警察官A	男性	平成30年6月22日 予定	平成30年7月2日～ 平成30年8月14日	平成30年9月16日	平成30年10月下旬	平成30年 11月中旬
	女性					
警察官B	男性	平成30年6月22日 予定	平成30年7月2日～ 平成30年8月14日	平成30年9月16日	平成30年10月下旬	平成30年 11月中旬
	女性					
第1回育休任期付		平成30年5月18日 予定	平成30年5月29日～ 平成30年6月15日	平成30年7月8日	平成30年8月上旬	
第2回育休任期付		平成30年12月7日 予定	平成30年12月14日～ 平成31年1月4日	平成31年1月20日	平成31年2月上旬	

2 受験資格

試験名	受験資格	
I 種	次のア又はイの要件を満たす人 ア 昭和58年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた人 イ 平成9年4月2日以降に生まれた人で、大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は平成31年3月末日までに卒業見込みの人	
III 種	平成6年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人（大学（短期大学を除く。）における在学期間が2年を超える人を除く。）	
資格免許職	昭和54年4月2日以降に生まれた人	
警察官A	男性	昭和61年4月2日以降に生まれた人で、大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は平成31年3月末日までに卒業見込みの人
	女性	
警察官B	男性	昭和61年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人で、上記「警察官A」の受験資格に該当しない人
	女性	

3 試験地

試験名	第1次試験	第2次試験等
I 種	和歌山市、田辺市	和歌山市
資格免許職 (I種と同日実施)		
III 種	和歌山市、田辺市、新宮市	和歌山市
資格免許職 (III種と同日実施)		
警察官A	男性	和歌山市 (第2次試験、第3次試験)
	女性	
警察官B	男性	
	女性	

育休任期付	和歌山市	和歌山市
-------	------	------

4 その他

- (1) 試験区分、採用予定人員、受験資格等の詳細については、各試験ごとに要綱を定める。
なお、この計画は、都合により変更する場合がある。
- (2) 育休任期付職員採用試験の第1次試験については、募集する試験区分により、和歌山市のほか、田辺市又は新宮市で試験を実施する場合がある。
- (3) この計画に定める試験以外の試験（身体障害者を対象とした職員採用試験等）については、実施の有無を含め未定である。

和歌山県人事委員会告示第4号

平成30年度第1回和歌山県警察官A採用試験及び和歌山県警察官（サイバー犯罪捜査官）採用試験を次の要綱により実施する。

平成30年3月1日

和歌山県人事委員会委員長 平 田 健 正

平成30年度第1回和歌山県警察官A採用試験及び和歌山県警察官（サイバー犯罪捜査官）採用試験要綱

1 試験区分、採用予定人員及び職務内容

試験区分		採用予定人員	職務内容
警 察 官 A	男性一般	25人程度	個人の生命、身体及び財産の保護、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締りその他公共の安全と秩序の維持
	女性一般	6人程度	
	男性武道（柔道）	2人程度	男性一般の職務に加え職員に対して武道指導を行う。
	男性武道（剣道）	1人程度	
	女性武道（柔道）	1人程度	女性一般の職務に加え職員に対して武道指導を行う。
	女性武道（剣道）	1人程度	
	語学（英語）	1人程度	男性一般又は女性一般の職務に加え通訳業務を行う。
サイバー犯罪捜査官		1人程度	情報処理に関する専門的知識、技能及び経験を生かし、警察官として、サイバー犯罪の捜査業務等に従事する。

注 採用予定人員は、退職者の状況等により変更になる場合がある。

2 受験資格

受験資格は、次表のとおりとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する人は、受験することができない。

- (1) 日本国籍を有しない人
- (2) 地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条各号のいずれかに該当する人（準禁治産者を含む。）

試験区分	学歴・資格等	年齢及び性別
男性一般	ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学（短期大学を除く。）を卒業した人又は平成31年3月末日までに卒業見込みの人	昭和61年4月2日以降に生まれた男性
女性一般	イ 和歌山県人事委員会がアに該当する人と同等の資格があると認める人	昭和61年4月2日以降に生まれた女性

警 察 官 A	男性武道 (柔道) (※1)	男性一般の受験資格を有し、柔道の段位(※2)が3段以上の人 で公益財団法人全日本柔道連盟又はこれに加盟する団体が行う 全国的な競技会又はそれらに相当する競技会に出場した人(平 成31年3月末日までにこれらの資格要件を満たす見込みの人を含 む。)	昭和61年4月2日以降 に生まれた男性
	男性武道 (剣道) (※1)	男性一般の受験資格を有し、剣道の段位(※2)が3段以上の人 で一般財団法人全日本剣道連盟又はこれに加盟する団体が行う 全国的な競技会又はそれらに相当する競技会に出場した人(平 成31年3月末日までにこれらの資格要件を満たす見込みの人を含 む。)	
	女性武道 (柔道) (※1)	女性一般の受験資格を有し、柔道の段位(※2)が2段以上の人 で公益財団法人全日本柔道連盟又はこれに加盟する団体が行う 全国的な競技会又はそれらに相当する競技会に出場した人(平 成31年3月末日までにこれらの資格要件を満たす見込みの人を含 む。)	昭和61年4月2日以降 に生まれた女性
	女性武道 (剣道) (※1)	女性一般の受験資格を有し、剣道の段位(※2)が2段以上の人 で一般財団法人全日本剣道連盟又はこれに加盟する団体が行う 全国的な競技会又はそれらに相当する競技会に出場した人(平 成31年3月末日までにこれらの資格要件を満たす見込みの人を含 む。)	
	語学 (英語) (※1)	男性一般又は女性一般の受験資格を有し、次のいずれかの資格 等を有する人 なお、それぞれの資格等は平成25年4月1日以降に取得したもの に限る。 ア 実用英語技能検定 準1級以上 イ TOEIC 700点以上 ウ TOEFL (iBT) 76点以上 エ 国際連合公用語英語検定試験B級以上	昭和61年4月2日以降 に生まれた男性又は 女性
サイバー犯罪捜査官 (※1)	情報通信技術関連の職務に通算して3年以上従事した経験を有す る人(※3)	昭和34年4月2日から 平成6年4月1日までに 生まれた男性又は女 性	

(※1) 男性武道(柔道)、男性武道(剣道)、女性武道(柔道)、女性武道(剣道)及び語学(英語)の試験区分については、資格等の証明書の写しを、受験申込みの際に提出し、第1次試験当日に原本を提示できる人に限る。

サイバー犯罪捜査官については、職歴証明書の原本を、受験申込みの際に提出できる人に限る。

(※2) 柔道の段位については公益財団法人講道館から、剣道の段位については一般財団法人全日本剣道連盟から授与されたものに限る。また、受験資格に定める資格等を平成31年3月末日までに取得できなかった場合、採用資格を失う。

(※3) 職歴は、平成25年4月1日以降で通算して3年以上の経験を必要とする。(平成31年3月末日現在で通算して3年以上の経験となる見込みの者を含む。平成31年3月末日現在で3年以上の経験とらなかった場合、合格しても採用資格を失う。)

職歴は、フルタイム勤務の正規職員(正規職員と1週間当たりの勤務時間が同じ勤務形態で就業している者を含む。)として、6か月以上継続して就業した期間が該当する。

職歴が複数ある場合は通算することができるが、同一期間内に複数の実務に従事した場合は、いずれか一方のみの職歴に限る。

注 資格等が受験資格に該当するか否かが明らかでない場合は、和歌山県警察本部警務課に問い合わせること。

3 試験の日時、試験地及び合格発表

	日時	試験地	合格発表
第1次試験	平成30年5月13日（日）午前9時	和歌山市 田辺市（※）	平成30年5月下旬に県庁北別館2階本館連絡通路に掲示するとともに、合格者に通知する。
第2次試験	平成30年6月中旬	和歌山市	平成30年6月下旬に県庁北別館2階本館連絡通路に掲示するとともに、合格者に通知する。
第3次試験	平成30年7月中旬	和歌山市	平成30年7月下旬に県庁北別館2階本館連絡通路に掲示するとともに、受験者全員に通知する。

（※）男性武道（柔道）、男性武道（剣道）、女性武道（柔道）、女性武道（剣道）、語学（英語）及びサイバー犯罪捜査官の第1次試験会場は、和歌山市に限る。

4 試験の方法及び内容

(1) 第1次試験

試験種目等	配点	内容
教養試験（※1） （択一式2時間）	500点	警察官として必要な一般的知識及び能力についての筆記試験（50問）
実技試験（※2）	500点	柔道又は剣道についての実技試験
専門試験（口述） （※3）	500点	語学力（英語）についての口述試験（読取りを含む。）
専門試験（記述） （※4）	300点	情報処理に関する専門的知識及び能力についての記述式による試験（90分）
経験小論文試験 （※4）	200点	これまでの職務経験等についての記述式による試験（60分、800字程度）
資格加点（※5）	別表に掲げる対象となる資格等の該当者に加点する。	
適性検査	職務遂行上必要な適性についての検査 なお、検査結果は、第2次試験及び第3次試験における面接試験の参考資料とする。	

（※1）教養試験の内容は、大学卒業程度で行う。

（※2）実技試験は、男性武道（柔道）、男性武道（剣道）、女性武道（柔道）及び女性武道（剣道）の受験者のみ実施する。

男性武道（柔道）及び女性武道（柔道）の受験者は、講道館柔道審判規則に定められている柔道衣を持参すること。

男性武道（剣道）及び女性武道（剣道）の受験者は、全日本剣道連盟剣道試合及び審判規則に定められている剣道衣、竹刀及び剣道具を持参すること。

（※3）専門試験（口述）は、語学（英語）受験者のみ実施する。

（※4）専門試験（記述）及び経験小論文試験は、サイバー犯罪捜査官の受験者のみ実施する。

（※5）資格加点は、警察官A男性一般又は警察官A女性一般の受験者のうち、受験申込みの際に証明書の写しを添付の上、申請を行い、第1次試験当日に原本を提示した場合に限り、加点の対象とする。

また、資格加点の対象となる資格等及び点数は別表のとおりとし、複数の資格等を有する場合は、最も点数の高いもののみを加点する。

なお、柔道の段位については公益財団法人講道館から、剣道の段位については一般財団法人全日本剣道連盟から授与されたものに限り、情報処理については平成13年度以降に実施されたものに限る。

別表

	対象となる資格等	点数
柔道及び剣道	3段以上	50点
	2段	40点
	初段	30点
語学(英語)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定1級 ・ TOEIC 900点以上 ・ TOEFL (iBT) 101点以上 ・ TOEFL (PBT) 607点以上 ・ TOEFL (CBT) 253点以上 ・ 国際連合公用語英語検定試験A級以上 	50点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定準1級 ・ TOEIC 700点以上900点未満 ・ TOEFL (iBT) 76点以上101点未満 ・ TOEFL (PBT) 540点以上607点未満 ・ TOEFL (CBT) 207点以上253点未満 ・ 国際連合公用語英語検定試験B級 	40点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実用英語技能検定2級 ・ TOEIC 500点以上700点未満 ・ TOEFL (iBT) 52点以上76点未満 ・ TOEFL (PBT) 470点以上540点未満 ・ TOEFL (CBT) 150点以上207点未満 ・ 国際連合公用語英語検定試験C級 	30点
情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITストラテジスト試験 ・ システムアーキテクト試験 ・ プロジェクトマネージャ試験 ・ ネットワークスペシャリスト試験 ・ データベーススペシャリスト試験 ・ エンベデッドシステムスペシャリスト試験 ・ ITサービスマネージャ試験 ・ システム監査技術者試験 ・ 応用情報技術者試験 ・ 情報セキュリティスペシャリスト試験 ・ 情報処理安全確保支援士試験 ・ システムアナリスト試験 ・ アプリケーションエンジニア試験 ・ ソフトウェア開発技術者試験 ・ テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験 ・ テクニカルエンジニア(データベース)試験 ・ テクニカルエンジニア(システム管理)試験 ・ テクニカルエンジニア(エンベデッドシステム)試験 ・ テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)試験 ・ 情報セキュリティアドミニストレータ試験 ・ 上級システムアドミニストレータ試験 	50点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本情報技術者試験 ・ 情報セキュリティマネジメント試験 	40点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ITパスポート試験 ・ 初級システムアドミニストレータ試験 	30点
財務	・ 日商簿記検定1級	50点
	・ 日商簿記検定2級	30点

(2) 第2次試験

試験種目	配点	内容
面接試験	600点	人物、能力、性格等についての個別面接
体力試験	200点	職務遂行上必要な体力についての試験 (立幅跳び、上体起こし、腕立伏臥腕屈伸、時間往復走及び往復持久走)
論文試験 (1時間30分)	200点 (※)	一定のテーマによる識見、表現力、判断力等についての記述試験(1,200字程度)
身体検査		職務遂行上必要な身体的条件を有するか否かについての検査
身体精密検査		職務遂行上必要な健康度を有するか否かについての検査 (胸部疾患、伝染性疾患、心臓疾患等の有無及び聴力、色覚等を判定するため、レントゲン検査、血液検査、尿検査等を行う。)

(※) 論文試験の採点は、第3次試験で行う。

また、別途作成する本試験案内に平成29年度の論文テーマを掲載する。

(3) 第3次試験

試験種目	配点	内容
面接試験	1,200点	人物、能力、性格等についての個別面接

(第2次試験における身体検査及び身体精密検査の基準)

検査項目	合格基準	
	男性	女性
身長	おおむね160cm以上	おおむね150cm以上
体重	おおむね47kg以上	
視力	両眼とも裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上であること。	
色覚	職務遂行に支障がないこと。	
その他 (胸部疾患、伝染性疾患、心臓疾患等の有無及び聴力等)	職務遂行に支障がないこと。	

注 上記検査項目のうち、身長、体重及び視力については、いずれか一つでも合格基準を下回る場合に、色覚及びその他については、いずれか一つでも職務遂行に支障があると認められる場合には不合格となる。

第1次試験、第2次試験及び第3次試験の合格者は、各試験種目の総合得点順に決定する。ただし、各試験種目(第1次試験の適性検査を除く。)には合格基準があり、一つでも基準に達しないものがある場合には、総合得点が高くても不合格となる。

また、資格加点については、教養試験の合格基準を満たさない者には加点しない。

5 受験手続及び受付期間

(1) 申込方法

次のいずれかにより和歌山県警察本部警務課に申し込むこと。

ア インターネット

和歌山県ホームページの「例規・行政・統計・データ」欄の「電子申請」にある「和歌山県電子申請システム」から、画面上の指示に従って申し込むこと。

イ 郵送

所定の申込用紙(申込書、受験票及び写真票)に必要事項を記入し、写真票に顔写真を貼って、和歌山県警察本部警務課まで郵送すること。また、封筒の表に「警察官採用試験受験申込み」と朱

書し、必ず簡易書留郵便にすること。

申込用紙は、和歌山県ホームページの「例規・行政・統計・データ」欄の「電子申請」にある「和歌山県電子申請システム」の「申請書ダウンロード」から印刷するか、次の配布場所において入手すること。

〈申込用紙の配布場所〉

和歌山県警察本部警務課

和歌山県警察本部交通センター

県内各警察署

和歌山県人事委員会事務局

和歌山県パスポートセンター

和歌山県庁正面玄関サービスステーション

和歌山県東京事務所

和歌山県名古屋観光センター

また、申込用紙を郵便で請求する場合は、切手を貼った宛先明記の返信用封筒を必ず同封して、和歌山県警察本部警務課へ請求すること。

(2) 受付期間

ア インターネットによる申込みの場合

平成30年3月1日（木）午前10時から同年4月6日（金）午後4時までの間に受信したものを受け付ける。

イ 郵送による申込みの場合

平成30年3月1日（木）から受付を開始し、同年4月6日（金）までの消印のあるものを受け付ける。

(3) 受験票等の交付

ア インターネットによる申込みの場合

申込みが到達した場合は、整理番号とパスワードを記載した「申込完了通知メール」を自動送信する。その後、申込みを受理した場合は、「受付審査完了通知メール」を送信する。受験票は、受付期間終了後に電子申請システム内で発行する。受験票を発行した場合は、「受験票発行通知メール」を送信するので、指示に従い受験票ファイル及び写真票ファイルをダウンロードし、書面に印刷すること。写真票には受験番号、氏名等を記入し、顔写真を貼ること。

試験当日は、受験票及び写真票を必ず持参すること。

なお、試験当日、写真票に顔写真が貼られていない場合は受験することができない。

イ 郵送による申込みの場合

申込書を受理した場合は、受付期間終了後に受験票を交付する。

なお、申込書の記載事項に不備があるときは受験することができない場合がある。

6 合格から採用まで

(1) この試験の最終合格者は、それぞれの試験区分ごとに作成する和歌山県人事委員会の採用候補者名簿に登載され、警察本部長からの請求により人事委員会が提示し、その中から採用者が決定される。警察本部長からの請求は、欠員の状態に応じて行われるため、採用候補者名簿に登載された人でも採用されない場合がある。採用候補者名簿の有効期間は、当該名簿が確定した日から原則として1年間である。

警察官Aの試験区分で受験した者のうち、大学卒業見込みで受験した人は、平成31年3月末日までに卒業できない場合、採用資格を失う。

なお、採用時期は、卒業見込み者については平成31年4月以降、既卒者については平成30年10月以降の予定である。

(2) 警察官Aで採用された者は、和歌山県巡査に任命され、6か月間警察学校に入校し、卒業後県内の各

警察署に配属される。

(3) サイバー犯罪捜査官で採用された者は、和歌山県警部補又は和歌山県巡査部長に任命され、和歌山県警察本部又は県内各警察署に配属される。

7 給与等

(1) 給与

警察官Aで採用された者の採用時の給料月額、204,100円（平成29年4月1日現在）で、経歴その他に応じて一定の額が加算される。

サイバー犯罪捜査官で採用された者の採用時の給料月額は、警察職員の給与に関する条例（昭和29年和歌山県条例第21号）の定めに基づき、経歴その他を勘案して決定される。

このほか、警察職員の給与に関する条例等の定めに従い、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等が支給される。

(2) 住宅

警察学校入校期間中は、全寮制である。また、各警察署に住宅の設備がある。

8 昇進

所定の年限を勤務すると、昇任試験に合格することにより昇任することができる。

9 試験結果の情報提供

この試験の結果について、受験者本人の申し出により、情報提供を受けることができる。情報提供を希望する人は、以下により、受験票又は本人であることを証明する書類（運転免許証、旅券等の顔写真付きで公的機関が発行するものに限る。）を持参の上、和歌山県人事委員会事務局に申し出ること。ただし、インターネットにより受験申込みを行った受験者は、「和歌山県電子申請システム」により、情報提供を受けることができる。

試験の種類	対象者	内容	期間
第1次試験	第1次試験不合格者	試験種目別の得点、合格基準に達していない試験種目並びに第1次試験の総合得点及び総合順位	合格発表日から1か月間（和歌山県人事委員会事務局で確認する場合は、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日を除く、午前9時（期間の初日は、合格発表後）から午後5時45分まで）
第2次試験	第2次試験不合格者	試験種目別の得点、合格基準に達していない試験種目、第1次試験の総合得点及び総合順位並びに第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点及び総合順位	
第3次試験	第3次試験受験者	試験種目別の得点、合格基準に達していない試験種目、第1次試験の総合得点及び総合順位、第1次試験及び第2次試験を合わせた総合得点及び総合順位並びに第1次試験、第2次試験及び第3次試験を合わせた総合得点及び総合順位	

10 その他

この試験についての問合せは、和歌山県人事委員会事務局又は和歌山県警察本部警務課にすること。